

Cisco IQリリースノート2026年6月

概要

Cisco IQ™は、AIを活用したデジタルインターフェイスで、顧客やパートナーがシスコのサポートおよびプロフェッショナルサービスを利用する方法を変革するように設計されています。Cisco IQは、複数のポータル、ツール、APIを1つのインテリジェントインターフェイスに統合し、Cisco Customer Experience(CX)の全リソースに対して「玄関番」として機能します。このデジタルインターフェイスにより、インベントリ管理、脆弱性検出、サポートサービスへの接続が簡素化されます。

Cisco IQのアプリケーションと機能：

- 資産に関する予測的な洞察：インベントリ追跡ライフサイクルのマイルストーンと、関連するField Noticeおよびセキュリティアドバイザリの提供を統合
- 適応型インフラストラクチャ評価:AIを活用した運用健全性およびセキュリティ領域全体の評価により、カスタマイズされた計画と優先順位付けされた推奨事項を生成
- AIを活用したサポート：最新のケース管理とAIサポートにより、専門エンジニアを模倣して根本原因の分析とケースの解決を迅速化

このドキュメントでは、Cisco IQの新機能、アプリケーションサポート、および既知の問題について説明します。


リリースされた機能

事前通知

Cisco IQに事前通知バナーが表示され、今後のCisco Product Security Incident Response Team(PSIRT)セキュリティアドバイザリが正式に公開される前にそのことを知らせるようになりました。これらのバナーはアドバイザリのリリース日の7日前にCisco IQに表示され、影響を受ける製品タイプや公開日などの詳細を提供します。これにより、アドバイザリがリリースされる前に必要なアップグレードを計画および準備することができます。

契約データの可用性の向上

以前は、新しく追加されたサービス契約データの表示に最大24時間かかることがありました。Cisco IQは契約の追加後1時間以内にインベントリを生成するため、契約の詳細や資産固有の洞察にすばやくアクセスし、今後の製品ライフサイクルのマイルストーンに基づいて行動することができます。

 注：非常に大規模なデバイスインベントリ（数万台のデバイスにまたがるインベントリなど）を含むサービス契約では、処理時間がさらに長くなる可能性があります。

レポート

Your Reportsページでは、AIで生成された分析レポートを一元的に保存および管理できます。レポートは、AI Assistant、インラインメッセージ、Cisco IQ全体の完全な分析ビューなど、さまざまなエントリポイントからキャプチャできます。

主な機能は次のとおりです。

- スナップショット管理：レポート履歴を効率的に参照し、スナップショットを切り替えます。
- エクスポートとクリーンアップ：レポートをPDFとしてダウンロードしたり、レポートを個別にまたは一括で削除してライブラリを管理したりできます。
- エラー処理の改善：権限、セッション、またはロードに関する問題について、わかりやすく有益なガイダンスを受け取ることができます。

レポートのカスタマイズ

AI Assistant内のカスタマイズ機能を使用すると、AIで生成された分析レポートをレポートビューから直接、特定のニーズに合わせてカスタマイズできます。次の機能を使用して、レポートのレイアウトとコンテンツを変更できます。

- ウィジェットの並べ替え：チャート、テーブル、インサイトをドラッグアンドドロップして、レポートレイアウトを並べ替えます
- ウィジェットの削除：最も重要なデータに焦点を当てるために、特定のグラフ、テーブル、またはインサイトを除外します。
- AI支援による編集：自然言語プロンプトを使用して、タイトル、説明、重要な洞察の特定の変更を要求します。
- 推奨されるプロンプト：分類されたAI生成の提案のライブラリを活用して、カスタマイズをガイドします

解決済みの問題

このリリースでは、次の問題が解決されています。

資産アプリケーション

「Assets with Critical or High Security Advisories」ウィジェットで、テレメトリが接続された資産の数が正しく表示されない

以前は、アカウントに接続されている資産が存在する場合でも、「資産」 > 「概要」ページの「重要または高セキュリティアドバイザリの資産」ウィジェットに、テレメトリ接続の資産数として「0」が表示されていました。この問題は解決され、このウィジェットには、テレメトリに接続されたアセットの数と、重要なセキュリティアドバイザリまたは高いセキュリティアドバイザリの影響を受けるアセットの数が正確に表示されるようになりました。

アクセスポイントの数に関して、AIアシスタントが矛盾する回答を返しました

以前は、Assets > Overviewページでアカウントのアクセスポイント総数を問い合わせた際に、AI Assistantから矛盾する応答が返されていました。この問題は解決され、AI Assistantはアクセスポイントのインベントリクエリに対して一貫性のある正確な応答を返すようになりました。

組み込み製品サポートのあるMerakiデバイスが契約対象外と誤って表示される

以前は、製品サポートが組み込まれたMerakiデバイス(たとえば、「組み込み製品サポート (Embedded Product Support)」)が、有効な組み込みカバレッジがあるにもかかわらず、「Assets」 > 「Service Contracts」ビューで「Not Covered」と誤って表示されていました。この問題は解決され、製品サポートが組み込まれたMerakiデバイスには、契約ステータスとサポートタイプが正しく表示されるようになりました。

評価アプリケーション

ワイヤレスセキュリティの強化と設定評価の結果が不完全だった

以前は、ワイヤレスデバイスのセキュリティ強化と設定評価の結果は不完全で、Cisco IQの標準的な評価エクスペリエンスと矛盾していました。影響を受ける領域は次のとおりです。

- Cisco IQ命名規則に従っていないルールのタイトル
- ルールの意味のある説明ではなく、一般的な静的テキストを表示するルールの説明
- テスト結果には障害が発生したデバイスのみが表示され、合格、不確定、または該当しないステータスは表示されません。
- 証拠ログを含まない詳細の検索
- 一般的で、特定のコマンドラインガイダンスを欠いた推奨事項
- 実際のコマンド出力ではなく、静的なプレースホルダテキストを表示する推奨コマンド

この問題は解決されています。セキュリティ強化と設定評価の結果に関するワイヤレスルールがCisco IQ標準に準拠するようになり、評価ステータスの完全な可視化、正確なルールの説明、特定の修復ガイダンス、および適切にレンダリングされたコマンド出力が提供されます。

セキュリティアドバイザリの影響を受ける資産をエクスポートできない

以前は、Assessments > Security Advisories詳細ビューから、特定のセキュリティアドバイザリの影響を受ける資産のリストをエクスポートできませんでした。この問題はすでに解決されており、セキュリティアドバイザリの詳細ページから該当する資産リストを直接エクスポートできます。

資産検索で、アセスメントの資産別結果に結果が返されませんでした

これまでは、「Assessments」>「Findings by Asset」ページでホスト名またはシリアル番号で資産を検索しても、資産がアカウントインベントリに存在する場合でも結果が返されませんでした。この問題は解決され、資産検索で正確な結果が返されるようになりました。

セキュリティアドバイザリから評価されたアセットの詳細を表示しているときにエラーが発生しました

以前は、Assessments > Security Advisoriesビューで、該当する資産の「View evaluated asset」リンクをクリックすると、資産評価の詳細ではなくエラーが表示されていました。この問題は解決され、評価済み資産詳細ビューが正しくロードされるようになりました。

既知の問題

次の既知の問題がCisco IQで現在積極的に対処されています。

資産アプリケーション

リソースグループとタグのアセット選択は100アセットに制限されています

Assets > Overviewページからリソースグループの作成やタグの適用を行う場合、一度に選択できるアセットは最大100個に制限されます。タグを適用したり、より大きな資産セットにリソースグループを作成したりする必要があるユーザーは、1回の操作でタグを適用することはできません。現時点では回避策はありません。

評価アプリケーション

サポート終了日には、セキュリティアドバイザリの一部の資産に関して「1970年1月1日」と表示される

Assessments > Security Advisoriesビューでは、特定の資産のサポート終了日に、正しい日付や「Not Available」インジケータの代わりに、「1970年1月1日」と表示される場合があります。現時点では回避策はありません。

空白ページとして開くセキュリティ強化アセスメントの参照リンク

Assessments > Security Hardening > Rule evaluations > Asset Resultsビューでは、特定の強化チェックの「Reference」リンクに「unsafe:」プレフィックスが含まれている場合があり、リンクが目的の参照ドキュメントではなく空白ページとして開きます。回避策として、Rule evaluation > About the Ruleの下の参照リンクをクリックします。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。